

6 さいたま輝き荻野吟子賞



埼玉県では、本県出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子（おぎのぎんこ）」にちなみ、その不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所の方々に「さいたま輝き荻野吟子賞」を贈っています。

この表彰制度は、女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するとともに、埼玉の偉人である荻野吟子を顕彰するため、平成17年度から実施しています。

■ 対象者

きらきら輝き部門	県内に在住（勤）若しくは県出身又は県内に所在し、先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく今後の活躍が期待できる個人又は団体
さわやかチャレンジ部門	県内に在住（勤）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満の個人
いきいき職場部門	県内に所在し、男女が共同して参画することができる職場作りに積極的に取り組んでいる事業所

●●●●●●●● 第8回（平成24年度）受賞者 ●●●●●●●●

きらきら輝き部門

田部井 淳子（登山家）

女性として世界で初めてエベレストや7大陸の最高峰の登頂を果たす。東日本大震災後は、震災や原発事故で避難している方などと福島県や首都圏の山を登る「東北応援プロジェクト」を実施。旧騎西高校や福島県内の避難所や仮設住宅等に呼び掛け、参加した被災者は600人を越えている。（川越市在住）

さわやかチャレンジ部門

碓井 美由紀（エンジニア）

日本電気株式会社宇宙システム事業部に勤務。小惑星探査機「はやぶさ」の後継機に搭載される「イオンエンジンシステム」の開発取りまとめを担当している。イオンエンジンの魅力を伝えるため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）施設の一般公開の際にはボランティアとして参加するほか母校での講演活動なども行う。（小川町出身）

金子 友紀（人形師）

さいたま市岩槻区で人形制作の技術習得に努め、平成21年に国の指定伝統工芸品「江戸木目込人形（えどきめこみにんぎょう）」の伝統工芸士に認定される。女性の職人が少ない分野で伝統技法を守りながらも、現代に合った人形制作を模索すべく独自ブランド「工房ゆうき」を立ち上げて活動している。（さいたま市在住）

いきいき職場部門

社会福祉法人杏樹会（入間市）

高齢者介護や保育事業を実施。10年前から職員の要望をもとに制度改正を進め仕事と子育て・家庭生活の両立ができる職場づくりに取り組んでいる。両立支援のため法定基準を上回る制度の導入や職場風土の改革により職場の理解が深まり、職員の定着と優秀な人材の確保、女性の管理職への登用につながっている。

株式会社武蔵野銀行（さいたま市）

仕事と家庭生活の両立支援を年代・性別に関係ない全従業員の間で共通課題と捉えて取り組んでいる。職場環境の整備に向け女性従業員を中心に様々な年代から幅広く意見を聴取している。法定基準を上回る両立支援制度を導入するほか、女性の採用拡大や職域拡大、各種制度の利用などに成果を上げている。